

製品名: ハプトグロビン (11E4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11898**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:1000-1:5000,FC 1:200-1:1000,IF-P 1:1000-1:5000
分子量	39kDa

抗原情報

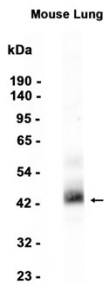
遺伝子名	HP
別名	Binding peptide; Haptoglobin alpha chain; Haptoglobin beta chain; HP2ALPHA2; HPA1S; Zonulin;
遺伝子 ID	3240.0
SwissProt ID	P00738
免疫原	ヒトハプトグロビンの組み換えタンパク質

背景

ヘモグロビン/ハプトグロビン複合体は、肝臓クッパー細胞表面に発現するマクロファージ CD163 スカベンジャー受容体によって、エンドサイトーシスによるリソソーム分解経路を経て速やかに除去されます。切断されていないハプトグロビンはゾヌリンとしても知られ、腸管透過性、細胞間タイトジャンクションの分解、そして非自己抗原に対する寛容と免疫の平衡制御に関与しています。溶血の結果、ヘモグロビンは腎臓に蓄積し、尿中に排泄されます。ハプトグロビンは遊離血漿ヘモグロビンを捕捉して結合し、肝臓でのヘム鉄の再利用を可能にし、腎障害を予防します。ハプトグロビンは抗酸化物質として作用し、抗菌作用を有し、急性期反応の様々な側面を調節する役割を果たします。ヘモグロビン/ハプトグロビン複合体は、肝臓クッパー細胞の表面に発現しているマクロファージ CD163 スカベンジャー受容体によって、エンドサイトーシスによるリソソーム分解経路を通じて急速に除去されます。

研究分野

画像データ



ハプトグロビン (11E4) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用したマウス肺組織抽出物のウエスタンブロット分析。